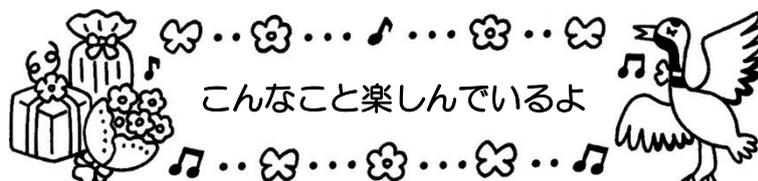




# 職員室だより

富津市立竹岡保育所  
2025.1.9発行

明けましておめでとうございます。地域の皆さんに、職員室だよりを回覧させていただくようになってから、この号で第10号となります。2か月に1回のペースのため、ボリュームたっぷりになってしまいますが、保育所がこんなことしているんだな〜と読んでいただくと幸いです。今年も保育所の様子をお伝えしますので、どうぞよろしくお願いたします。



## 【11月】

石原さんの家の田んぼでの稲刈りからスタートした11月。3年目となる稲刈りは、だいぶコツを掴み、一人前の働きをする姿がありました。特に、年長の伍桔君。鎌で刈り取った稲の束を肩に担いで歩く姿に成長を感じます。この後ろ姿を見て、年下の子達は何かを学んでいることでしょう。毎年、子ども達のためにとご協力下さる石原さんご夫妻に、改めて感謝申し上げます。



3日、4日には竹岡地区の文化祭がありました。保育所のために広いスペースを提供いただきました。ありがとうございます。子ども達の作品だけでなく、保育所の日常がわかるドキュメンテーションも掲示させていただきました。こうして掲示してみると、地域の皆さんとの関わりがとても多いことがよくわかります。また、地域の方から、“私達も保育所に行ってみよう”というありがたいお話もありましたので、今後、地域の皆さんが保育所に顔を出せる機会も検討していきたいと思っております。



15日は七五三参拝の予定でしたが、あいにくの空模様でしたので、保育所のホールでご祈祷していただきました。神社で開催する時と同じように、紅白幕を飾ったり祭壇を用意して下さったり、とても立派な七五三のお祝いでした。後日、三柱神社に行き、お賽銭も納めてきました。これからも地域の皆さんに見守っていただきながら、健やかに育ててほしいと願っています。

お忙しい中、保育所に来ていただいたお礼に、裏庭で収穫したみかんをおすそ分け。今年の保育所産みかんは、大当たり。11月中の給食のデザートは、毎日、保育所産みかんでした。お客さんにごちそうしたり、峰上保育所のお友達にもおすそ分けしたり・・・保育所でみかん狩りが出来るなんて、最高です！



21日には、恒例となってきた中央保育所との交流保育がありました。袖ヶ浦公園に行く予定でしたが、朝まで雨が残っていたので、道の駅保田小附属ようちえんに行きました。横幅が広い滑り台をみんなで一斉に滑ってみたり、まるで檻のような遊具に入ってみたり、半日、たっぷり遊びました。事前に伺うことを伝えていたのですが、従業員の方から、手作りの四つ葉の折り紙をいただくサプライズもあり、とても満足していた子ども達です。



また、保育所では年に5～6回、富津市役所保育課在籍の栄養士による『たべもの教室』というものがあります。

これは栄養士が食育の一環として行っているもので、手洗いの仕方や野菜の名前あてクイズ、栄養の話、お箸の持ち方などを教えてもらっています。自分達でお米や野菜を育てているだけあって、給食の食べがいい子ども達です。



## 【12月】

4日に『東京ベイサイドGC』まで歩いていきました。これは、子ども達が「保育所から見えるお城みたいなのところに行ってみよう」と話していたので、『東京ベイサイド GC』の熊木支配人さんに相談させていただいたところ、地元の子どものためなら・・・と快く受け入れて下さり実現しました。

事前に職員で下見に行った時、「果たして、本当に子ども達が歩けるのか・・・」と若干の心配があったのですが、全くの取り越し苦労となりました。従業員の込宮さん、浅野さんが子ども達が危なくないようにと誘導をして下さい、楽しくおしゃべりしながら、あっという間にクラブハウスに到着。熊木支配人さんが子ども達を迎えるために、クラブハウス内の動物の置物を一か所に集め、まるで動物園のようにして下さいました。これには、子ども達だけでなく、職員も感激しました。電動カートに乗せていただくと、子ども達は遊園地に来たかのようなはしゃぎっぷり！また、富士山が見えるお風呂にも案内して下さい、足湯をするというなんとも贅沢な経験もさせていただきました。保育所から給食を運び、海を眺めながら昼食を食べたり、従業員の皆さんに代わる代わる声をかけていただいたり、とても楽しく過ごすことができました。

ゴルフ場という、子ども達とはあまり縁の無い場所でありながら、このように温かく迎えてくださったことに職員だけでなく、保護者の皆さんも感激していました。子ども達はすっかりこの場所が気に入ったようで、18日には2歳児も一緒に歩いていきました。そして、2月には中央保育所のお友達も連れて行ってあげる予定です。

熊木支配人さん、込宮さん、浅野さんを始め、従業員の皆様、ありがとうございました。これからもたくさん遊びに行かせていただきたいと思います。



翌日の5日は、収穫祭。子ども達は、この日のためにいろいろな準備をしてきました。今年度は、おうちの人も種まき～稲刈り～脱穀～粃摺りとやっていただいたので、収穫した新米と一緒に食べることにしました。当日は、お米をといだり、お味噌汁の具材を切ったり、子ども達は準備に大忙し。おうちの人にクッキングをしている様子を見てもらいました。お味噌汁を煮込み、お釜を火にかけている間は、親子で自然物を使った製作をしました。作ったものは、園庭にある葉っぱを使ったタペストリーや、大きい松ぼっくりを使ったツリー。とても素敵なものが出来上がりましたね。

タペストリーやツリーが完成する頃、ご飯もお味噌汁も完成！そして、日頃、お世話になっている畑の先生の込宮さんと飯田さんご夫妻も到着し、会食がスタートしました。おうちの方も込宮さん、飯田さんに畑のやり方を教わったり、昔話に花を咲かせたり、とても和んだ時間を過ごすことができました。

こうして収穫祭が開催できるのも、石原さんや込宮さん、飯田さんのおかげです。子ども達だけでなく、周りの大人も含めて素晴らしい経験が出来ることに改めて感謝申し上げます。



12月の第1週は大忙し。6日は、中央保育所のお友達と一緒に、天羽小学校のマラソン大会の応援に行きました。事前に横断幕を用意し、保育所応援団の気合いも十分！きれいな青空の下、一生懸命走る先輩達を、一生懸命応援してきました。私達職員も、卒園してからも頑張っている姿を見る機会が持て、嬉しかったです。また、当日の待ち時間には、保坂校長先生のご配慮で体育館を開放してくださいました。広い体育館で遊べたことも、貴重な経験です。

保育所応援団の前を通過する時は、一段と走りっぷりが良くなる小学生。やっぱり応援は、力になるんでしょうね。



9日には、なんとレコーディングを体験しました！これは、心咲ちゃんのお母さんから、“私も何か子ども達のために協力したいので、音楽の楽しさを一緒に味わいませんか？”とお話があって実現しました。お母さんとバハマ、ジャマイカのアーティストが歌うクリスマスソングに、子ども達が簡単なコーラスを入れるという、とても現代的な企画に子ども達だけでなく、大人も緊張・・・当日は、ヘッドフォンをつけ、マイクに向かって歌い、アーティスト気分を味わうことができました。



24日には、子ども達が楽しみに待っていたサンタさんが保育所に来てくれました。去年と同じ、トナカイも一緒に・・・鈴の音が近づいてきたと思ったら、ホールドアが開いてサンタさんが登場！子ども達の“わぁ～、来てくれた！”と言わんばかりの表情に職員も嬉しくなりました。サンタさんから1人ずつ、プレゼントをもらってニコニコ笑顔の子ども達。夕方、お迎えに来たおうちの人に一生懸命サンタさんのことを話していました。来年も来てくれるかな～♡



26日は、『竹岡を愛する会』の区長さん達と餅つきをしました。保育所は毎年、『竹岡を愛する会』から春と秋にお花を頂いています。春にはマリーゴールドやパチュニア、秋にはパンジーやキンセンカを頂くので、保育所はいつもお花に囲まれています。頂いたお花は、子ども達と一緒に植えているのですが、昨年から“お花を頂くお礼をしよう”と餅つきに来ていただいています。

蒸かしたもち米が、ペタンペタンとつくたびにお餅に変化していく様子を不思議そうに見ていた子ども達。今年は温かくて柔らかいお餅で、区長さん達と一緒に鏡餅を作りました。鏡餅を作った後は、おはぎを食べ、とっても和やかな時間を過ごすことができました。帰りに、子ども達手作りのしめ縄飾りをプレゼントすると、「これでお正月を迎えられるな～」と区長さん達がニコニコされていました。子ども達を孫のように見守ってくださる姿に、とても心が温まりました。ありがとうございました。



畑の先生として、すっかり子ども達と打ち解けてくださっている、飯田さん、込宮さん。子ども達は、自分のおじいちゃんとおばあちゃんが増えたと感じているように思えるほど、親しくさせていただいています。保育所に来ていただくだけでなく、おうちまでお散歩に行かせてもらったり、ばったり畑でお会いして、そのまま畑仕事を手伝ってみたり・・・。

最近はお仕事中だった浅倉建設さんで、ショベルカーに乗せていただくこともありました。叶水産さんからは、マコモダケを植えるために、魚を入れる大きな樽を譲っていただきました。地域の皆さんに見守っていただいているおかげで、様々な活動が出来ることをとても嬉しく思います。2025年も元気な『たけおかっ子』をよろしく願いいたします。

